

01 「清明—すべてのものが生き生きとして清らかに見える」

国立天文台二十四節気一覧(春)の説明では、4月4日清明(説明:すべてのものが生き生きとして、清らかに見える)とあります。今日は4月6日(火)、天気予報晴れ。先日お山の森の木の学校の明石浩見代表のツイッターで展望台登り口の崖にイワウチワ咲くとありました。

8時過ぎ森の小径入口の駐車場に車を置き、まだ残雪があるので冬の身支度を整えて残雪残り僅かですが固くしまった雪の上を歩きました。

春の野草花は何から咲くのか。

早速に崖斜面にまだ咲いたばかりの丈長5cm位のショウジョウバカマを見つけました。

猩々袴(シュロソウ科 *Melanthiaceae* ショウジョウバカマ属の多年草)とあります。

Microsoft Bing 調べでは(中国から伝わった空想動物「猩々」が由来していると言われています。)



ショウジョウバカマ

R03.04.06AM0841

展望台頂上は小さい台地状になっていて陽当たりが良く萌え出る春でした。この樹何の樹と写真を撮ってみました、オオカメノキ(ムシカリ)の葉でした。幼いということはとても愛らしい。名前由来は大亀の木、葉の形が亀の甲羅に似ていることから。

学名: *Viburnum furcatum* は ガマズミ科、レンプクソウ科 ガマズミ属やスイカズラ科ムシカリ属との説明がありどちらなのか調べた。東北森林管理局ではスイカズラ科としている。花の咲くのが待ち遠しい。



オオカメノキの幼葉

R03.04.06AM0947

今冬は結構雪が降ったと思いますが、展望台の大木は、立派に威を見せつけます。

展望台にはアカマツ・ヒメコマツ・スギの大木があります、その中で1本のアカマツが堂々と頂部に空を仰ぎます。

アカマツ: マツ科マツ属。

学名: *Pinus densiflora* (属名 *pinus* はケルト語の「pin(山)からきたラテン古名、種小名の *densiflora* は「あふれるように花をつける」という意味。



1本アカマツ

R03.04.06AM0949.

そのアカマツの傍に、陽光に白小花を見せるタムシバがあります。

タムシバ: 嘯柴、学名 *Magnolia salicifolia* *Magnolia*(フランスの P.Magnol への献名、種小名 *salicifolia* はやなぎ属(*Salix*)のような葉(*folium*)の意味。



タムシバ開花

R03.04.06AM0954

そして春一番に咲く花マンサクの花満開です。

学名 *Hamamelis japonica*

属名 *Hamamelis* はギリシャ語の「hamos(似た)+melis(リンゴ)」

から、別の属につけられた名が転用。

種小名 *japonica* は「日本の」意味。



マンサクの花

R03.04.06AM1023

春にひっそりと日陰に咲く花をお見せします。残念ながらまだ蕾でしたが、岩崖の上にさいていました、きっと明日には開花するでしょう。

岩団扇、学名: *Shortia uniflora*)は、イワウメ科イワウチワ属の多年草。

*Shortia*:イワウチワ属、米国の C.W.Short への献名。

種小名 *uniflora* は、単葉の、1枚だけ葉を付けるの意味。



イワウチワ

R03.04.06AM1057